

昨年と同じ3.18ヶ月の年末手当回答 出し渡った経営側②



中長期を振り返る

リーマンショック

2008年9月に、アメリカの投資銀行である「リーマン・ブラザーズ・ホールディングス」が経営破綻したことに端を発して、世界的な金融危機が起きました。

世界的な金融危機を受けて日経平均株価も大暴落し、9月12日の終値が12,214円だったものが、10月28日には一時6,000円台まで下落するなど、日本経済を直撃しました。その後も消費の低迷やドル安が進み、新型インフルエンザの流行と相まって日本経済の大幅な後退期へとつながっていきました。

当社の業績も「2008年度期末決算」において4期振りに減収減益になり、続く「2009年度期末決算(単体)」でも減収減益となったほか、営業収益が対前年▲849億円(95.7%)となるなど、営業利益、経常利益、当期純利益は「過去最大の減益」を記録しました。

<年末手当実績>

2007年度：3.25ヶ月 2009年度：3.06ヶ月 2011年度：2.78ヶ月

相次ぐ自然災害

記憶にも新しく、いまだ生々しい爪痕を東日本エリアの各地と人々の心に残している東日本大震災をはじめ、今年も6月～8月にかけて新潟県や秋田県を中心とする豪雨により、当社の鉄道施設や社員の自宅などに甚大な被害を受けました。

その他にも2004年の新潟県中越地震や2007年の新潟県中越沖地震、2008年の岩手・宮城内陸地震、2014年の関東甲信越地方を中心とした大雪、2016年の台風10号など、毎年のように自然の猛威による被害を受けています。

私たちJR労働者はその都度、一致団結して「安全・安定輸送の確保」と「早期復旧」に全力をあげてきました。そして今もなお、その努力は続けられています。

営業収益の推移



2008年 2009年 2011年 2016年

(単体決算/単位: 億円)

年度	営業収益	営業利益	経常利益
2008年度	19,674	3,657	2,610
2009年度	18,825	2,826	1,783
2011年度	18,174	2,929	2,077
2016年度	20,688	3,886	3,416

JR労働者の努力で業績をV字回復させてきた!